

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ネイスぶらす吉川美南校		
○保護者評価実施期間	2024年12月6日		～ 2024年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2024年12月6日		～ 2024年12月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・支援中においても職員同士の連携が取れている	レッスン前に活動内容や最近の生徒の様子、その他事務等の共有を行っている	
2	・生徒対応やその他対応については職員で相談をし合い改善できるようにしている	ケース会議を行い支援計画についての理解を深めている	日々のレッスンを通して生徒の興味や好きなものを活用しながら楽しめるようなレッスンを提供できるように職員間で協議してる
3	職員自身が負担にならないような業務の効率化	業務の担当化やひと月で取り組む内容を紙面化し誰がどの作業を行うかを把握している。また、確認する担当もつけながら業務の抜けが無いかを確認している。	

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・玄関の鍵の安全管理を徹底し離脱(飛び出し)が無いように各々が全体の状況把握できるようにする	・鍵の位置が児童が開けることができる高さにあること(離接のリスク)	・可能な限りの環境設定や利用児に合わせて職員の配置などを行っています
2	・今以上に職員のスキルアップ	・身体のこと、心のことなど専門的な講師のもと研修を受けて知識をもっと深める機会が必要	
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ネイスぱらす吉川美南校		公表日		2025年 3月 10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	毎日清掃をする時間を設けています		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	相談室を利用することがあります		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	月ごとの業務については担当制とし各タスクジュールに沿って取り組んでいます		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	機会は設けておりませんが、通所時のフィードバックやメッセージ等でのご意見や内容については職員間で共有しています		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	コミュニケーションの中で意見等を聞きながら業務改善を図っています 毎日児童共有を行った際に伝えていきます		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	内部間については特段指摘などはないが、教室内の環境整備などは継続していきます		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	教室では定期的に児発管の先生が研修をしています	初月の研修を適宜行っているが、説明だけの研修となり時間コストだけがかりすぎているため改善が必要だと感じています 教室内の研修については十分に行っているため、外部の研修の必要性も感じています	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	ケース会議で支援計画に記載されていることをさらに詳しく共有しています		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	hugシステムを活用し同じフォーマットを利用しています		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	長期目標を達成するため細かな短期目標を提示しています		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	児童来所前の共有時に各担当から活動内容などの共有を行っています メインの担当が考え共有の際に意見を重ねたりしています		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	メインの担当をローテーションしています		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	支援の提供時間終了後から退勤時まで20分程度しかないと、難しい際は次の日の共有時に回しています 職員の生徒対応を振り返っています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	サービス提供記録の記入や業務日報への記載を毎日行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	達成していた場合には更新をしています	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	0		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	3		相談支援事業所の会議に参加を参加をしたことがないです
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	4		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	1	5		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	4		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3		該当する児童がいいため行っておりません
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	0	5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	5		
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	利用時のフィードバックや面談時に様子や行動の意図などをお伝えしています 支援後に毎回フィードバックをしています	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	年間予定表を保護者には配布しています	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	個別支援を作成後は説明をし了承を得てから支援を始めています	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	相談を受ける時間を設けています	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	5		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	書類については書庫で保管しています	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		研修や避難訓練を行っています
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		メッセージや来所時に保護者様からお話が あった際には職員間で共有しながら配慮等 を行っています	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	アレルギーに関するものについては事前に確認を行いながらおやつを提供を行っています	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		事例があった際には共有をし報告書を作成して います
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0			